

働き方改革アクションプラン

会社名	ダイハツ工業株式会社	従業員数	①5,000人以上
-----	------------	------	-----------

①長時間労働の是正（KPI）

◇2018年度において、年間所定外労働時間480時間超者をゼロにする。

①長時間労働の是正（行動計画）

◇高負荷者への対策

- ・管理職の所定外労働時間月80時間超者を管理する。
- ・月中での所定外労働時間の管理、および業務負荷調整を実施する。

◇労働時間削減

- ・各職場実態に応じて、労使双方で生産性向上に向けた取り組みを実施する。
- ・定時退社日、年休取得促進日の設定し、メリハリある働き方を推進する。
- ・無用なCCメールの廃止など、小さなムダを無くす取組みを地道に継続する。
- ・ダブり業務を止める判断や手戻りを出さない業務指示など、職場マネジメントや工夫による改善に取り組む。

働き方改革アクションプラン

会社名	ダイハツ工業株式会社	従業員数	①5,000人以上
------------	------------	-------------	-----------

②年休の取得促進（KPI）

◇2018年度において、年休付与日数の完全取得に向けた取り組みを推進する。

②年休の取得促進（行動計画）

◇一人ひとりの意識や風土を変える取組み

- ・職場マネジメント力の向上により、マネジメント層が自職場の状態を正確に把握する。
- ・年休取得を質的・量的に向上させるため、一人ひとりがあらかじめ年休計画を立て、計画的に取得できるよう、労使で一人ひとりに焦点を当てた対応を実施する。

◇年休取得を促す取組み

- ・リフレッシュ休暇など、年休取得を促進する既存制度の周知を実施する。
- ・年休の計画的な取得が出来ているか、労使で定期的に確認を行う。
- ・年休の低取得者については、上司も交え、労使でのフォローを定期的に実施する。

働き方改革アクションプラン

会社名	ダイハツ工業株式会社	従業員数	①5,000人以上
------------	------------	-------------	-----------

③柔軟な働き方の促進（KPI）

◇2020年度までに、男性の育休取得比率を2倍以上とする。

③柔軟な働き方の促進（行動計画）

◇管理職のダイバーシティマネジメント力の強化

- ・管理職向け教育の検討および段階的な実施を行う。

◇男性の家庭参加の促進

- ・在宅勤務等、柔軟な働き方を促す制度を検討する。
- ・フレックスタイム制度（コアタイムなし）、育児のための短時間勤務制度など、既存制度の周知を行う。

◇男性の育休取得の促進策

- ・育児／介護／子の看護休暇制度など、既存制度の周知を実施する。